

山と連携し都市に第二の森をつくるプロジェクトへぜひご参加ください。

「環境保護」という視点に立つと、国産材は輸入木材に比べて輸送に必要なエネルギーが少なく、大変優れた素材です。中でも間伐材はCO₂を固定するため、建物に使うことで都市に第二の森が生まれ、地球温暖化の防止につながります。今回は、建築デザインの可能性を広めたい方、地球環境や地域振興に関心のある皆さまに、国産間伐材（地域産材）を用いた高断熱木製窓をご紹介します。

「日本は大きなひとつの森」

山では木を育て「森」をつくろう。
都市では間伐材を使い「第二の森」をつくろう。

CO₂固定を推進する木製窓のプロジェクトです。

2008.7.28（月）

18:00-20:00

第2回 間伐材活用セミナー

新技術で、設計の可能性が広がる
国産材で、新たな地域振興が始まる

■ドイツの建築分野における木材利用の現状

一級建築士事務所 エネクスレイン 小室大輔 <http://www.enexrain.com>

【プロフィール】ケルン在住。ドイツと日本を行き来しながら、環境や資源、循環という視点を重視した建築視察の企画や通訳同行を行うほか、日本での建築基本計画等の立案にも参画。著書：「パッシブ建築手法事典/共著」。

■国産材を用いた大型木製窓システムー環境先進国ドイツにおける木材活用法とはー

飯田ウッドワークシステム株式会社 代表取締役 飯田信男 <http://www.iimado.com>

【プロフィール】北海道産カラマツによる高断熱木製サッシの研究開発に専心する。（財）日本木材総合情報センター主催「モデル木材供給システム表彰林野庁長官賞」受賞、（社）発明協会主催「北海道地方発明奨励賞」受賞。



高断熱木製窓とは

国産木材とアルミ外装材の組み合わせによって、3～4階建の高さのある開口部や曲面に対応し、デザインの自由度を高め、間伐材活用の道を開いたサッシです。ドイツを始めとするヨーロッパでは、高断熱による省エネ効果が認められ、普及が進んでいます。

気密・水密性、耐震・耐風圧強度を確保し、優れた耐久性を実現しています。また、ビスなどの止め金具が一切見えない外側のアルミのシャープさと、室内側の木の醸し出すあたたかみとの、両者が共存するデザインが特徴です。



定員

先着30名 参加費無料

申込

7月26日（土）までに下記の申込書にてFAXまたはE-MAILでご連絡ください。
ご不明な点は、弊社までお気軽にお問い合わせください。

会場



「be-京都」

京都市上京区新町通上立売上る
安楽小路町429-1

- ・地下鉄烏丸線今出川駅下車
2番出口から徒歩5分
- ・市バス上京区総合庁舎前下車徒歩4分

お問い合わせ

株式会社 Hibana (担当：成田)
〒602-8104
京都市上京区下立売通大宮西入浮田町600
TEL 075-803-6277
FAX 075-803-6299
H P <http://www.hibana.co.jp/>
E-MAIL info@hibana.co.jp

申込書

送信

株式会社 Hibana 宛

FAX 075-803-6299 E-MAIL info@hibana.co.jp

名前	所属	電話番号	FAX番号
		-	-
		-	-
		-	-
		-	-